

## 研究・教育業績リスト

前田 廉孝 (Kiyotaka MAEDA)

---

### 連絡先

慶應義塾大学文学部人文社会科学系日本史学専攻

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

電話番号：(省略)

FAX 番号：(省略)

E-mail アドレス：k-maeda[at]keio.jp

---

### 学歴・学位論文

2015年7月 博士(経済学) 慶應義塾大学(甲第4287号)

#### 論文題目

近代日本の専売政策とその市場的基盤—明治・大正期塩専売制度と食塩市場を事例に

#### 審査者

(主査) 中西 聡(慶應義塾大学経済学部教授)

(副査) 柳沢 遊(慶應義塾大学経済学部教授) / 井奥 成彦(慶應義塾大学文学部教授)

(学識確認) 池田 幸弘(慶應義塾大学経済学部教授) / 神田 さやこ(慶應義塾大学経済学部教授)

2013年3月 慶應義塾大学大学院経済学研究科経済学専攻後期博士課程単位取得退学

2010年3月 慶應義塾大学大学院経済学研究科経済学専攻前期博士課程修了

修士(経済学) 慶應義塾大学

#### 論文題目

明治後期日本における塩専売制度の成立過程—輸移入塩対策を中心に

#### 審査者

(主査) 杉山 伸也(慶應義塾大学経済学部教授)

(副査) 柳沢 遊(慶應義塾大学経済学部教授) / 神田 さやこ(慶應義塾大学経済学部准教授)

2008年3月 慶應義塾大学経済学部卒業

学士(経済学) 慶應義塾大学

2004年3月 私立慶應義塾高等学校卒業

---

## 経歴

### 本務

2018年4月–現在 慶應義塾大学文学部人文社会学科史学系日本史学専攻 准教授  
2015年4月–2018年3月 西南学院大学経済学部経済学科 准教授  
2013年4月–2015年3月 西南学院大学経済学部経済学科 専任講師  
2010年4月–2013年3月 独立行政法人日本学術振興会 特別研究員 (DC1)

### 兼任

#### (現任)

2021年9月–2022年3月 早稲田大学商学部 非常勤講師  
2021年9月–2022年3月 福島大学大学院経済学研究科経営学専攻 非常勤講師  
2021年4月–現在 慶應義塾大学産業研究所 兼任所員

#### (過去)

2021年8月 茨城県教育研修センター指導力向上研修講座 (地理歴史科) 講師  
2021年5月 Adjunct Lecturer, College of Humanities, National Taipei University  
2020年6月 茨城県教育研修センター指導力向上研修講座 (地理歴史科) 講師  
2016年4月–2017年3月 慶應義塾大学経済学部 訪問准教授  
2015年8月 慶應義塾大学経済学部 (通信教育部) 非常勤講師  
2013年7月–2016年3月 慶應義塾大学経済学部 訪問講師  
2013年5月–2018年3月 大阪経済大学日本経済史研究所 特別研究所員

---

## 受賞学術賞

2017年2月 大銀協 (大阪銀行協会) フォーラム奨励賞 受賞 (共同受賞)  
2016年1月 西南学院大学研究奨励賞 (学長表彰) 受賞  
2014年3月 西南学院大学研究奨励賞 (学長表彰) 受賞  
2013年10月 2013年度経営史学会・出版文化社賞 受賞  
2010年4月 日本学生支援機構大学院第一種奨学金全額返還免除 (特に優れた業績)

## 研究活動（学術論文）

## 著書（和文）

1. 『塩と帝国：近代日本の市場・専売・植民地』名古屋大学出版会，2021年12月（刊行決定済）。
2. 「戦時期日本の占領地域における「学術調査」－1942年 山西学術調査研究団を中心に」柳沢遊・倉沢愛子編著『日本帝国の崩壊』慶應義塾大学出版会，2017年6月，129–159頁。
3. 「近代における原料調達－交通インフラ整備の進展と原料産地の変化」上花輪歴史館監修，井奥成彦・中西聡編著『醤油醸造業と地域の工業化－高梨兵左衛門家の研究』慶應義塾大学出版会，2016年6月，255–297頁。

## 学術雑誌掲載論文（英文）

1. “Market-Based Financing for Small Corporations during Early Industrialisation: The Case of Salt Corporations in Japan, 1880s–1910s,” *Business History*, accepted (online available) (refereed).
2. “The Futures Premium and Rice Market Efficiency in Prewar Japan,” joint with Mikio Ito and Akihiko Noda, *Economic History Review*, 71(3), August 2018, pp. 909–937 (refereed).
3. “Market Efficiency and Government Interventions in Prewar Japanese Rice Futures Markets,” joint with Mikio Ito and Akihiko Noda, *Financial History Review*, 23(3), December 2016, pp. 325–346 (refereed).
4. “The Procurement of Imported-acquired Raw Materials by Food Manufacturers in the Late Nineteenth and Early Twentieth Centuries: A Case Study of the Takanashi Family, a Large-scale Soy Sauce Brewer,” *Japanese Research in Business History*, Vol.31, 2014, pp.31–48.

## 学術雑誌掲載論文（和文）

1. 「地方零細銀行と地域経済：1898～1919年香川県宇多津町の製塩業金融」『経済史研究』（大阪経済大学日本経済史研究所）25号，2022年1月（掲載決定済）
2. 「日露戦後日本の政府介入と超過需要：VAR・VECモデルによる専売制度下食塩市場の分析」『史学』（慶應義塾大学）第89巻第4号，2021年2月，1–39頁。
3. 「帝国日本の台湾・関東州塩需給と流通主体：1890–1910年代を中心に」『史学』（慶應義塾大学）第89巻第3号，2020年12月，83–136頁。

4. 「日露戦後の必需品課税における脱税行為と監視・取締：塩専売法違反を事例に」『社会経済史学』（社会経済史学会）第85巻第3号，2020年2月，89–110頁（査読有）。
5. 「明治・大正期日本の食塩市場と塩専売制度をめぐる経済史研究の意義と課題」『史学』（慶應義塾大学）第88巻第1号，2018年12月，27–69頁。
6. 「明治・大正期日本の政策的食料需給調整と植民地産品消費—食塩市場を事例に」『社会経済史学』（社会経済史学会）第84巻第3号，2018年11月，49–72頁（査読有）。
7. 「食料をめぐる経済政策と消費の嗜好性—戦前期日本の米穀・食塩を中心に」『嗜好品文化研究』（嗜好品文化研究会）第3号，2018年3月，48–55頁。
8. 「戦間期日本における米穀先物取引の変動と記述史料—取引所作成史料の限界と大阪堂米会発行誌の意義」『西南学院大学経済学論集』第52巻第1号，2017年7月，1–33頁。
9. 「日露戦後経営期の日本内地における植民地産品輸移入拡大の論理—塩専売制度下の関東州塩輸入拡大を中心に」『歴史と経済』（政治経済学・経済史学会）第233号，2016年11月，16–30頁（査読有）。
10. 「日清戦後経営期の本国・植民地間における経済政策の相克—農商務省の内地製塩業政策を中心に」『社会経済史学』（社会経済史学会）第81巻第2号，2015年8月，71–94頁（査読有）。
11. 「導入初期における塩専売制度の運用目標—制度運用への批判と塩専売法廃止法案審議過程の検討を中心に」『日本塩業の研究』（日本塩業研究会）第34集，2015年3月，77–106頁。
12. 「経済史研究における計量分析の方法と課題—効率的市場仮説をめぐる分析を中心に」『西南学院大学経済学論集』第49巻第2・3合併号，2014年12月，169–190頁。
13. 「戦時期華北における資源調査—1942年山西学術調査研究団を中心に」『三田学会雑誌』（慶應義塾大学）第107巻第3号，2014年10月，97–117頁。
14. 「日清戦後経営期における同業者団体の活動—大日本塩業協会の会報発行活動を事例に」『社会経済史学』（社会経済史学会）第80巻第2号，2014年8月，91–110頁（研究ノート・査読有）。
15. 「1890年代後半期日本における内地産品・輸移入品間の市場競合—曹達製造用・醤油醸造用塩市場を中心に」『西南学院大学経済学論集』第48巻第1・2合併号，2013年9月，89–117頁。

16. 「戦前期台湾・関東州製塩業における日系資本の進出過程－野崎家と大日本塩業株式会社を中心に」『社会経済史学』（社会経済史学会）第78巻第3号，2012年11月，3–28頁（査読有）。
17. 「明治・大正期における食品製造業者の輸移入原料調達－醤油醸造業者 高梨家（千葉県東葛飾郡野田町）を事例に」『経営史学』（経営史学会）第47巻第2号，2012年9月，49–75頁（査読有）。
18. 「明治後期商品取引所における定期取引－東京商品取引所食塩取引を中心に」『歴史と経済』（政治経済学・経済史学会）第213号，2011年10月，28–43頁（査読有）。
19. 「日清戦後における食塩輸入量増加と製塩業界の対応－大日本塩業協会の設立を中心に」『日本塩業の研究』（日本塩業研究会）第32集，2011年3月，51–77頁。

#### ワーキングペーパー（英文）

1. “Discretion versus Policy Rules in Futures Markets: A Case of the Osaka-Dojima Rice Exchange, 1914–1939,” joint with Mikio Ito and Akihiko Noda, *Quantitative Finance Papers* [arXiv: 1704.00985], April 2017.
2. “Market Integration in the Prewar Japanese Rice Markets,” joint with Mikio Ito and Akihiko Noda, *Quantitative Finance Papers* [arXiv: 1604.00148], April 2016.

#### 解説

1. 「講座 「財政専売」の時代：植民地塩の輸移入と取引」『日本海水学会誌』第75巻第4号，2021年11月（掲載決定済）。
2. 「講座 「財政専売」の時代：19–20世紀転換期の食塩市場」『日本海水学会誌』第75巻第3号，2021年9月，158–161頁。
3. 「講座 「財政専売」の時代：近代日本の食塩・塩専売制度と経済学」『日本海水学会誌』第75巻第1号，2021年3月，46–48頁。

#### 資料紹介論文

1. 「『堂島米報』・『大阪米報』（1930～40年）掲載記事目録」『西南学院大学経済学論集』第52巻第4号，2018年3月，39–109頁。

2. 『大阪堂米会報』(1928～29年)掲載記事目録『西南学院大学経済学論集』第52巻第2・3合併号, 2017年11月, 67-82頁。
3. 『大日本塩業協会会報』記事目録(2)―「論説」記事を中心に『西南学院大学経済学論集』第49巻第4号, 2015年3月, 113-124頁。
4. 『大日本塩業協会会報』記事目録(1)―「雑報」記事を中心に『西南学院大学経済学論集』第49巻第2・3合併号, 2014年12月, 251-293頁。
5. 「戦時期満洲・中国・南洋群島における資源調査関連史料―第1次山西学術調査研究団史料(花井家史料)の紹介を中心に」『西南学院大学経済学論集』第48巻第3・4合併号, 2014年3月, 319-376頁。

## 書評

1. 「書評―高島正憲著『経済成長の日本史―古代から近世の超長期 GDP 推計 730-1874』」『経済セミナー』第700号, 2018年1月, 120頁。
2. 「書評―落合功著『近代塩業と商品流通』」『歴史と経済』(政治経済学・経済史学会)第225号, 2014年10月, 50-52頁。

## 辞典

1. 「発酵」社会経済史学会編『社会経済史学辞典』丸善出版, 2021年, 124-125頁。
2. 「日清戦争・日露戦争」社会経済史学会編『社会経済史学辞典』丸善出版, 2021年, 596-597頁。

## 報告書・その他

1. 「教員紹介」『三色旗』(慶應義塾大学)第837号, 2021年8月, 31-32頁。
2. 「史料は足で稼ぐ」『三田評論』(慶應義塾大学)第1224号, 2018年7月, 9頁。
3. 「蔵書ギャラリー no.23 『専売局報』」『西南学院大学図書館報』(西南学院大学図書館)No.183, 2017年11月, 7頁。
4. 「蔵書ギャラリー no.19 『塩専売史』」『西南学院大学図書館報』(西南学院大学図書館)No.178, 2015年4月, 7頁。

5. 「20世紀初頭における塩の需要拡大と関東州塩業－食品工業塩需要への考察を中心とした嗜好品原料史研究」『平成20–21年度嗜好品文化研究会研究奨励事業報告書』嗜好品文化研究会・(株)CDI, 2010年4月, 21–42頁。

---

## 研究活動（研究報告）

### 国際学会報告

1. “*Circulation of Economic Resources under the Japanese Empire: Colonial Salt versus Imported Salt from Third Countries, 1910s–30s*,” 19th World Economic History Congress in Paris (The École des Hautes Études en Sciences Sociales, France), July 2022 (accepted).
2. “*Financial Arrangements of Small and Medium Enterprises and Regional Capital Market in Prewar Japan*,” 18th World Economic History Congress in Boston (Massachusetts Institute of Technology, US), August 3, 2018.
3. “*Discretion versus Policy Rules in Futures Markets: A Case of the Osaka-Dojima Rice Exchange, 1914–1939*,” 18th World Economic History Congress in Boston (Massachusetts Institute of Technology, US) (joint with Akihiko Noda and Mikio Ito), August 3, 2018.
4. “*Discretion versus Policy Rules in Futures Markets: A Case of the Osaka-Dojima Rice Exchange, 1914–1939*,” Western Economic Association International 93rd Annual Conference (Sheraton Vancouver Wall Centre, Canada) (joint with Akihiko Noda and Mikio Ito), June 30, 2018.
5. “*Financial Arrangements of Small and Medium Enterprises and Regional Economic Growth in Japan: Transformations in the Salt Producing Region, 1890s–1910s*,” European Business History Association 21st Annual Congress (Vienna University of Economics and Business, Austria), August 26, 2017.
6. “*Market Efficiency and Price Stabilization Policy in Interwar Osaka-Dojima Rice Exchange*,” Western Economic Association International 92nd Annual Conference (Marriott Marquis San Diego Marina, US) (joint with Akihiko Noda and Mikio Ito), June 27, 2017.
7. “*Historical Documents on Rice Futures Trading in Interwar Japan*,” The Association of Japanology in East Asia Spring Meeting in 2017 (Kangwon National University, Korea), May 20, 2017.
8. “*Market Integration in the Prewar Japanese Rice Markets*,” Western Economic Association International 91st Annual Conference (Hilton Portland & Executive Tower, US) (joint with Akihiko Noda and Mikio Ito), June 29, 2016.

9. “*“Academic Investigation” on the Japanese Occupied Territories in Wartime: The Shanxi Academic Investigation in 1942,*” The Association of Japanology in East Asia Spring Meeting in 2016 (Chonbuk National University, Korea), May 21, 2016.
10. “*Market Efficiency and Government Interventions in Prewar Japanese Rice Futures Markets,*” Western Economic Association International 90th Annual Conference (Hilton Hawaiian Village Waikiki Beach Resort, US) (joint with Akihiko Noda and Mikio Ito), July 2, 2015.
11. “*Policies for the Salt Industry after Japanese-Sino War,*” The Association of Japanology in East Asia Spring Meeting in 2014 (University of Incheon, Korea), May 17, 2014.

#### 国内学会報告

1. 「地方零細銀行と地域経済：1898–1919年香川県宇多津町の製塩業金融」近世史フォーラム 2021年度10月例会（オンライン），2021年10月22日。
2. 「帝国日本の台湾・関東州塩供給：1890–1910年代を中心に」2020年度三田史学会大会総合部会シンポジウム「東アジアのなかの帝国日本：食の交流から考える」（於：慶應義塾大学三田キャンパス），2020年6月20日（COVID-19パンデミックで中止）。
3. 「大正期塩専売法違反の認知と処分—1916年度坂出専売支局管内を事例に」日本塩業研究会 2019年度第1回例会（於：慶應義塾大学三田キャンパス），2019年6月20日。
4. 「明治・大正期日本の食塩市場と塩専売制度をめぐる経済史研究の意義と課題」2018年度三田史学会大会（於：慶應義塾大学三田キャンパス），2018年6月23日。
5. 「明治・大正期における植民地産品需給とその政策的調整—塩専売制度下食塩市場を事例に」政治経済学・経済史学会 2017年度秋季学術大会（於：大阪商業大学），2017年10月14日。
6. “*Market Efficiency and Price Stabilization Policy in Interwar Osaka-Dojima Rice Exchange*”, 日本経済学会 2017年度秋季大会（於：青山学院大学青山キャンパス）（共同報告者：野田顕彦（京都産業大学）・伊藤幹夫（慶應義塾大学）），2017年9月9日。
7. 「戦間期大阪堂島米穀取引所における先物市場の価格形成と米穀政策」社会経済史学会第86回全国大会（於：慶應義塾大学三田キャンパス）（共同報告者：野田顕彦（京都産業大学）・伊藤幹夫（慶應義塾大学）），2017年5月27日。



8. 「明治・大正期地方における小規模株式会社と地域経済－香川県綾歌郡宇多津町を事例に」経営史学会第52回全国大会（於：中央大学多摩キャンパス），2016年10月8日。
9. “*Market Integration in the Prewar Japanese Rice Markets*”，日本経済学会 2016年度秋季大会（於：早稲田大学早稲田キャンパス）（共同報告者：野田顕彦（京都産業大学）・伊藤幹夫（慶應義塾大学）），2016年9月10日。
10. 「戦前期日本における東京・大阪米穀市場の統合過程－電信電話網の利用拡大との関連を中心に」社会経済史学会第85回全国大会（於：北海道大学札幌キャンパス）（共同報告者：野田顕彦（京都産業大学）・伊藤幹夫（慶應義塾大学）），2016年6月11日。
11. 「日露戦後日本の租借地産品「輸出」交渉－関東州塩の対清「輸出」交渉を事例に」政治経済学・経済史学会 2015年度秋季学術大会（於：福島大学金谷川キャンパス），2015年10月18日。
12. “*Futures Premium and Efficiency of the Rice Futures Markets in Prewar Japan*”，日本経済学会 2015年度秋季大会（於：上智大学四谷キャンパス）（共同報告者：野田顕彦（京都産業大学）・伊藤幹夫（慶應義塾大学）），2015年10月11日。
13. 「導入初期における塩専売制度の運用目標－制度運用への批判と塩専売法廃止法案審議過程の検討を中心に」日本塩業研究会平成27年度総会（於：ホテルサンルート瀬戸大橋），2015年8月7日。
14. 「戦前期日本における米穀先物市場の統合と情報効率性－東京米穀商品取引所・大阪堂島米穀取引所を中心に」社会経済史学会第84回全国大会（於：早稲田大学早稲田キャンパス）（共同報告者：野田顕彦（京都産業大学）・伊藤幹夫（慶應義塾大学）），2015年5月31日。
15. 「戦前期商品先物市場における先物プレミアムと効率性－東京・大阪堂島米穀取引所を事例に」政治経済学・経済史学会 2014年度秋季学術大会（於：青山学院大学青山キャンパス）（共同報告者：野田顕彦（和歌山大学）・伊藤幹夫（慶應義塾大学）），2014年10月19日。
16. “*Futures Premium and Efficiency of the Rice Futures Markets in Prewar Japan*”，日本経済学会 2014年度秋季大会（於：西南学院大学）（共同報告者：野田顕彦（和歌山大学）・伊藤幹夫（慶應義塾大学）），2014年10月12日。
17. 「経済史研究における計量分析の方法と課題－効率的市場仮説の「正否」をめぐる分析を中心に」パネル・ディスカッション「戦前日本と東アジア」2014年度社会経済史学会次世代研究者育成ワークショップ（於：大阪大学中之島センター），2014年9月14日。

18. “*Dynamic Linkages Between Tokyo and Osaka Rice Futures Markets in Prewar Japan*”, 日本経済学会 2014年度春季大会 (於:同志社大学今出川キャンパス) (共同報告者:野田顕彦 (和歌山大学)・伊藤幹夫 (慶應義塾大学)), 2014年6月15日。
19. 「日清戦後経営期の非輸出産業における同業者団体の活動—大日本塩業協会の会報発行活動を事例に」社会経済史学会九州部会・経営史学会西日本部会合同1月例会 (於:福岡大学七隈キャンパス), 2014年1月25日。
20. 「明治・大正期日本における塩専売制度の運用—「財政専売」から「公益専売」へ」政治経済学・経済史学会 2012年度秋季学術大会 (於:慶應義塾大学三田キャンパス), 2012年11月10日。
21. 「日清戦後における食塩輸入量増加と製塩業界の対応」日本塩業研究会平成24年度総会 (於:富山マンテンホテル), 2012年8月23日。
22. 「明治期日本における塩専売制度の導入過程」社会経済史学会第81回全国大会 (於:名古屋大学東山キャンパス), 2012年5月12日。
23. 「日清・日露戦間期台湾製塩業における野崎武吉郎家の進出過程」日本植民地研究会 2011年度秋季大会 (於:慶應義塾大学三田キャンパス), 2011年11月12日。
24. 「明治・大正期における醤油醸造業者の原料調達—千葉県東葛飾郡野田町 高梨家を事例に」経営史学会第47回全国大会 (於:九州大学箱崎キャンパス), 2011年10月15日。
25. 「明治後期における商品先物取引の機能」政治経済学・経済史学会 2010年度秋季学術大会 (於:首都大学東京南大沢キャンパス), 2010年11月13日。

#### 国際セミナー報告

1. “*Expanding Colonial Rice Circulation and Commodity Exchange*,” International Conference on Economic History “Supply and Circulation of Colonial Resources in Early 20th Century East Asia” (National Taipei University, Taiwan), April, 2022 (scheduled).
2. “*Financial Arrangements of Small and Medium Enterprises and Regional Capital Market in Prewar Japan*,” International Conference on Economic History “Growth and Developing Process of Markets during the Modernization in East Asia” (Kyoto Sangyo University, Japan), June 3, 2017.

3. “*Market Integration in the Prewar Japanese Rice Markets,*” International Conference on Economic History “Growth and Developing Process of Markets during the Modernization in East Asia” (Kyoto Sangyo University, Japan) (joint with Akihiko Noda and Mikio Ito), June 3, 2017.
4. “*Financial Arrangements of Small and Medium Enterprises and Regional Capital Market in Prewar Japan,*” International Conference on Economic History “Market Integration during the Modernization in East Asia” (Keimyung University, Korea), February 21, 2017.
5. “*Market Integration in the Prewar Japanese Rice Markets,*” International Conference on Economic History “Market Integration during the Modernization in East Asia” (Keimyung University, Korea) (joint with Akihiko Noda and Mikio Ito), February 21, 2017.
6. “*The Business Activities of Japanese Merchants in the Leased Territory after Russo-Japanese War: Focusing on the Negotiation for Salt Export from Kwantung Leased Territory to China,*” The International Academic Workshop “The History of Merchants in East Asia” (Korea University, Korea), August 21, 2015.
7. “*Competition between Imported and Domestic Salt in Japan: Cases from the Chemical and Food Industries in the Late 1890s,*” The International Workshop on World Economic History (Kyoto University, Japan), November 8, 2013.

#### 国内セミナー報告

1. 「地方零細銀行と地域経済：1898–1919年香川県宇多津町の製塩業金融」2021年度第6回慶應義塾大学産業研究所（KEO）セミナー（オンライン），2021年8月16日。
2. 「日露戦後日本の政府介入と超過需要：専売制度下食塩市場の分析」大阪経済大学日本経済史研究所第99回経済史研究会（オンライン），2020年10月17日。
3. 「日露戦後の必需品課税における脱税行為と監視・取締—塩専売法違反を事例に」香川大学経済学部現代社会研究会2019年度研究報告会（於：香川大学幸町キャンパス），2019年9月12日。
4. “*Market Efficiency and Price Stabilization Policy in Interwar Osaka-Dojima Rice Exchange,*” Monetary Economics Workshop（於：龍谷大学深草キャンパス）（共同報告者：野田顕彦（京都産業大学）・伊藤幹夫（慶應義塾大学）），2017年7月22日。
5. 「戦時期日本の占領地域における「学術調査」—1942年山西学術調査研究団を中心に」1940年代史研究会（於：慶應義塾大学三田キャンパス），2016年7月30日。

6. 「明治・大正期香川県における塩業会社の経営と資本調達－綾歌郡宇多津町の塩業会社を事例に」香川大学経済学部現代社会研究会 2016 年度研究報告会（於：香川大学幸町キャンパス），2016年7月23日。
7. 「戦時期山西省における日本の資源調査－1942年 山西学術調査研究団を中心に」1940年代史研究会（於：慶應義塾大学三田キャンパス），2015年8月8日。
8. “*Futures Premium and Efficiency of the Rice Futures Markets in Prewar Japan*”，和歌山大学理論・計量経済学セミナー（於：和歌山大学栄谷キャンパス）（共同報告者：野田顕彦（和歌山大学）），2014年12月12日。
9. 「戦時期華北における資源調査－1942年 第1次山西学術調査研究団を中心に」慶應義塾経済学会ミニカンファレンス「1940年代の地域社会－日本帝国膨張・収縮期の都市・農村の経済社会変動」（於：晴海グランドホテル），2014年7月19日。
10. 「時変効率性の計測に基づく米価史研究の意義」和歌山大学経済学会学術講習会「経済時系列解析と歴史研究－分析モデルの開発とその応用」（於：和歌山大学栄谷キャンパス），2013年9月19日。
11. 「1890年代後半期日本における内地産品・輸移入品間の市場競合－曹達製造用・醤油醸造用塩市場を中心に」慶應義塾経済学会国際シンポジウム「戦前期日本帝国における産業発展と経済構想」（於：慶應義塾大学三田キャンパス），2013年7月27日。
12. 「明治期日本における塩専売制度の導入過程」東京大学大学院経済学研究科附属日本経済国際共同研究センター経済史研究会（於：東京大学本郷キャンパス），2013年1月21日。
13. 「戦前期台湾・関東州製塩業における日系資本の進出過程－野崎武吉郎家と大日本塩業株式会社を中心に」香川大学経済学部現代社会研究会 2011 年度研究報告会（於：香川大学幸町キャンパス），2012年1月18日。
14. 「20世紀初頭における塩の需要拡大と関東州塩業」第7回嗜好品文化フォーラム（於：キャンパスプラザ京都），2009年5月31日。

## 研究資金獲得状況

## 外部資金（競争的研究資金）

- 2021–2023年度 日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(C)（課題番号：21K01617）  
「戦後復興期日本の闇物資流通・取締と民衆：1948年甲府専売支局管内闇煙草の事例」  
（¥4,030,000-, 研究分担者（研究代表者：山本裕（獨協大学））
- 2021年度 日本学術振興会科学研究費補助金・研究成果公開促進費（課題番号：21HP5124）  
「塩と帝国：近代日本の市場・専売・植民地」  
（¥2,400,000-, 研究代表者）
- 2020–2023年度 日本学術振興会科学研究費補助金・国際共同研究強化(B)（課題番号：20KK0029）  
「戦前期日本の本国・植民地間相互依存経済構造に関する日台韓国際共同研究」  
（¥18,720,000-, 研究代表者）
- 2020–2022年度 日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(C)（課題番号：20K01795）  
「明治・大正期都市・農村醤油市場の構造と価格連関：高梨本家文書による数量的分析」  
（¥4,290,000-, 研究代表者）
- 2018–2020年度 日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(C)（課題番号：18K01734）  
「戦前期東京・大阪株式市場の統合過程と価格形成機能の数量的分析」  
（¥4,290,000-, 研究分担者（研究代表者：花井俊介（早稲田大学））
- 2018年度 公益財団法人村田学術振興財団研究助成（採択番号：H30 助人 26）  
「時変計量経済モデルを用いた戦前期日本株式市場の時変構造に関する研究」  
（¥1,900,000-, 共同研究者（代表研究者：野田顕彦（京都産業大学））
- 2017–2020年度 日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(B)（課題番号：17H02553）  
「醸造業による農村工業化と和食文化の形成に関する地域比較研究」  
（¥15,990,000-, 研究分担者（研究代表者：井奥成彦（慶應義塾大学））
- 2017–2019年度 日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(C)（課題番号：17K03863）  
「戦間期における商品取引所の価格形成機能と市場運営―堂島米市場文書による実証研究」  
（¥4,420,000-, 研究代表者）

- 2015–2017年度 日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(C) (課題番号: 15K03542)  
「近代日本勢力圏下の市場統合と情報効率性の時変構造－内地・朝鮮米穀市場を中心に」  
(¥4,550,000-, 研究分担者 (研究代表者: 野田顕彦 (京都産業大学)))
- 2014–2016年度 日本学術振興会科学研究費補助金・若手研究(B) (課題番号: 26780199)  
「戦前期日本勢力圏下における原料資源政策－塩専売制度を中心に」  
(¥2,340,000-, 研究代表者)
- 2012–2014年度 日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(C) (課題番号: 24530364)  
「近現代日本の米穀市場における時変効率性と情報完備性の計測と比較」  
(¥5,070,000-, 研究分担者 (研究代表者: 野田顕彦 (和歌山大学)))
- 2010–2012年度 日本学術振興会科学研究費補助金・特別研究員奨励費 (課題番号: 10J02653)  
「戦前期大蔵省専売局による塩需給調整政策の展開－植民地塩による調整機能を中心に」  
(¥1,100,000-, 研究代表者)
- 2010年度 福武学術文化振興財団歴史学助成  
「関東の名望家と醤油醸造業－野田・高梨家文書の研究」  
(¥1,000,000-, 研究補助者 (研究代表者: 井奥成彦 (慶應義塾大学)))
- 2008–2009年度 嗜好品文化研究会第2回研究奨励事業研究助成金  
「20世紀初頭における塩の需要拡大と関東州塩業－食品工業塩需要への考察を中心とした嗜好品原料史研究」  
(¥600,000-, 研究代表者)
- 学内資金**
- 2018–2019年度 慶應義塾学事振興資金 (個人研究 B)  
「戦前期地方中小資産家による地域内投資と地域経済の変容」  
(¥500,000-, 研究代表者)
- 2016年度 西南学院大学教育・研究推進機構研究インキュベートプログラム A (個人研究)  
「戦前期日本内地における植民地産品依存の進展－生産・貿易統計を用いた植民地貿易の量的把握を中心に」  
(¥500,000-, 研究代表者)

2013年度 慶應義塾学事振興資金（共同研究枠）  
「1930～40年代における国策会社と在華日系企業の資源調査・運輸調査」  
（¥500,000-, 研究協力者（研究代表者：柳沢遊（慶應義塾大学））

2012年度 慶應義塾学事振興資金（経済学研究科枠）  
「震災・原発危機と地域経済復興」  
（¥800,000-, 研究協力者（研究代表者：柳沢遊（慶應義塾大学））

## 学会活動

### 所属学会

Economic History Society / Economic History Association / Western Economic Association International /  
社会経済史学会 / 経営史学会 / 在外日本企業史料研究会 / 日本塩業研究会 / 三田史学会

### 委員

#### （現任）

2019年5月–現在 三田史学会常任委員（会計）  
2019年4月–現在 経営史学会関東部会幹事  
2016年3月–現在 Member of Editorial Board, International Studies Research Institute,  
Keimyung University, Korea

#### （過去）

2019年4月–2019年10月 経営史学会第55回全国大会実行委員  
2018年11月–2019年10月 経営史学会研究組織委員

## 社会活動

### 取材協力

2020年9月 NHK 静岡放送局 ファミリーヒストリー：江川卓 出演・史料提供  
2018年11月 NHK 大阪放送局 連続テレビ小説「まんぷく」 経済史監修

## 学内運営活動

## 慶應義塾大学

(現任)

2021年10月–現在	文学部図書委員会委員
2020年4月–現在	文学部運営委員会委員
2018年4月–現在	文学部日本史学専攻担任

(過去)

2019年10月–2021年9月	国際センター学習指導主任 (三田)
2019年10月–2021年9月	学生交換・在外研修委員会委員
2020年4月–2021年3月	文学部日本史学専攻幹事
2019年4月–2019年9月	文学部図書委員会委員

## 西南学院大学

2017年4月–2018年3月	経済学部学生主任
2016年4月–2017年3月	図書館運営委員会委員
2015年4月–2016年3月	学術研究所運営委員会委員・『経済学論集』編集委員
2014年4月–2015年3月	言語教育センター運営委員会委員

## 教育活動

## 慶應義塾大学 (担当科目)

(現在)

- 日本史概説Ⅳ [日本近現代史入門] (文学部/秋学期)  
(2020–2021年度)
- 日本史史料講読Ⅰ・Ⅱ (文学部/春学期)  
(2018–2021年度)
- 日本史特殊Ⅰ [明治期日本の市場・産業と政策] (文学部/春学期)  
(2019・2021年度)
- 日本史特殊Ⅱ [大正・昭和期日本の市場・産業と政策] (文学部/秋学期)  
(2019・2021年度)
- 日本史研究会 (文学部/通年)  
(2018–2021年度)
- 日本史特殊講義演習Ⅲ [クリオメトリクスの方法と意義 (1)] (文学研究科修士課程/春学期)  
(2019–2021年度)



- 日本史特殊講義演習Ⅳ [クリオメトリクスの方法と意義 (2)] (文学研究科修士課程/秋学期)  
(2019-2021年度)
- 東アジアの伝統と挑戦 [東アジア研究へのいざない] (文学部/春学期 (コーディネーター))  
(2020-2021年度)
- 日本史概説 [日本近代史入門] (文学部通信教育部/夏期スクーリング)  
(2021年度)
- 日本史概論 (教職課程センター/秋学期 (オムニバス))  
(2018-2021年度)

#### (過去)

- 日本史概説Ⅲ [日本近世史入門] (文学部/春学期)  
(2020年度)
- 日本史洋書講読Ⅰ [Historical Studies on Commodity Market in Japan] (文学部/春学期)  
(2020年度)
- 日本史洋書講読Ⅱ [Historical Studies on Financial Market in Japan] (文学部/秋学期)  
(2020年度)
- 歴史Ⅰ [データ・史料から見る明治期日本経済] (総合教育科目/春学期)  
(2018-2019年度)
- 歴史Ⅱ [データ・史料から見る大正・昭和期日本経済] (総合教育科目/秋学期)  
(2018-2019年度)
- 人文科学特論Ⅱ [近代日本の商業と流通] (総合教育科目/秋学期)  
(2018年度)
- 日本史特殊 [明治期日本経済の歴史] (文学部通信教育部/秋期夜間スクーリング)  
(2018年度)
- 日本経済史 (経済学部通信教育部/夏期スクーリング)  
(2015年度)

#### 慶應義塾大学 (課外講義)

1. 通信教育部科目試験福岡会場講演会「日露戦後の必需品課税における脱税行為と監視・取締：塩専売法違反を事例に」、リファレンス博多駅東ビル貸会議室, 2019年10月13日。
2. 慶應義塾一貫教育校 (高等学校・志木高等学校・女子高等学校・湘南藤沢高等部・ニューヨーク学院) 対象模擬講義「近代日本の植民地経済と商品市場」, 慶應義塾大学三田キャンパス, 2019年8月26日。

慶應義塾大学（講演会主催）

1. 2021年度「歴史の仕事」講演会「歴史ドキュメンタリー番組の舞台裏：NHK「ファミリーヒストリー」の制作過程」（講師：三木謙将氏（NHKディレクター））、慶應義塾大学三田キャンパス、2021年6月5日。

慶應義塾大学（競争的教育資金）

- 2020-2022年度 慶應義塾創立150年記念未来先導基金2020年度公募プログラム  
「台湾の大学生と共に学ぶ植民地教育史：戦前・戦後地歴教育の変遷」  
(¥1,067,000-・代表者)

慶應義塾大学（国際交流）

- 2019-2021年度 国立台北大学人文学院歴史学系「国際学術専題交流」活動共同実施

National Taipei University

- Perspectives on History and Culture in East Asian Community [*Colonial Impact on Metropole: Commodity Circulation under the Empire Japan*] (College of Humanities / Spring (Omnibus))  
(2021AY)

早稲田大学（担当科目）

- 日本経済史（商学部／後期）  
(2021年度)

福島大学（担当科目）

- 特講「明治期日本の財政と経済」（経済学研究科修士課程／夏季集中）  
(2021年度)

茨城県教育研修センター（担当科目）

- 思考力・判断力・表現力を高める指導力向上研修講座「日本史・世界史の狭間：植民地史教育の意義と課題」（地理歴史科）  
(2021年度)
- 思考力・判断力・表現力を高める指導力向上研修講座「日本近代史としての植民地経済史：研究動向と大学教育での実践例」（地理歴史科）  
(2020年度)

西南学院大学（担当科目）

- 演習Ⅱ（経済学部／通年）  
（2015–2017年度）
- 演習Ⅰ（経済学部／通年）  
（2014–2017年度）
- 日本経済史（経済学部・商学部・法学部・国際文化学部／後期）  
（2013–2017年度）
- 経済英語Ⅰ（経済学部／前期）  
（2013–2017年度）
- 基礎演習Ⅰ [九州の産業・企業]（経済学部／通年）  
（2013–2017年度）
- 基礎演習Ⅱ（経済学部／通年）  
（2013–2014年度）

西南学院大学（課外講義）

1. 私立福岡舞鶴高等学校対象模擬講義 “Economic History and Economics”, 西南学院大学, 2017年7月13日。
2. 福岡県立柏陵高等学校対象模擬講義「日本経済の長期波動－8000年間の人口動態から見る日本経済の変動」, 西南学院大学, 2016年10月26日。
3. 福岡県立大牟田北高等学校対象出張講義「「競争する」ってどんなこと？－市場競争と財の同質性」, 福岡県立大牟田北高等学校, 2015年11月6日。
4. 西南学院大学2015年度オープンキャンパス模擬講義「市場の機能を支える諸条件」, 西南学院大学, 2015年8月2日。

以上の通り相違ありません。

2021年10月5日  
前田廉孝